

登別市立鷺別小学校  
改築基本構想

平成24年3月16日

鷺別地区学校耐震化改築検討委員会

## はじめに

鷺別小学校は、鷺別地区の中心に位置し、中学校、保育所、青少年会館などが隣接する文教地区として長い歴史があります。

昭和40年には1000人を超える児童が在籍し、そのたびに校舎が増築されました。

赤レンガのモダンであった校舎もすでに建築から50年以上経過して老朽化が進み、耐震化のための改築が必要となっています。

このような状況の中、本検討委員会は、昨年10月に教育委員会から鷺別地区の現状及び課題を踏まえ、改築に係る今後の鷺別小学校のあり方、そして、校舎改築にあたっての整備の方針について、検討依頼を受けました。

以後、鷺別地区の町内会、学校、PTA、町づくり団体などの関係者15名からなる委員がそれぞれの立場から意見を出し合うとともに、先進地区の新築校舎の視察、保護者や学校職員、障害者団体、子どもたちからの意見など幅広く意見を聴きながら、これからの鷺別地区の子どもたちに良好な教育環境を備えると同時に、地域の安全や地域のコミュニティの中核を担う場として活用、親しまれる施設となることをめざし、検討を重ねてまいりました。

その結果として、

- 1、鷺別小学校改築の基本方針
- 2、学校施設整備の方向
- 3、校舎の規模及び設置のイメージ
- 4、改築までの計画

からなる「鷺別小学校改築の基本構想」をまとめました。

以上のことを踏まえ、この報告が、今後の校舎改築にあたっての基本計画や基本設計、実施設計に生かされ、「鷺別地区の子どもたちの健やかな成長」と「鷺別地域の新たな活動拠点となる」ことを願い、提言いたします。

平成24年3月16日

鷺別地区学校耐震化改築検討委員会

座長 石井 憲一

## 目 次

I	改築の経緯・学校の現況	2
1	はじめに（改築に至る経緯）	3
2	鷺別中学校区の学校の現況	3
3	鷺別小学校区の子ども関連施設の周辺整備方針	5
4	改築にあたっての留意事項	5
II	鷺別小学校改築の基本構想	6
1	鷺別小学校改築の基本方針	7
2	学校施設整備の方向	7
3	校舎の規模及び設置のイメージ	9
4	改築までの計画	10
III	資 料	11
1	鷺別地区学校整備の方針	12
2	庁内会議・議会報告等の概要	13
3	地域懇談会の概要	14
4	改築検討委員会の概要	14
5	関係者へのアンケートの結果	20

# I 改築の経緯・学校の現況

# I 改築の経緯・学校の現況

## 1 はじめに（改築に至る経緯）

鷺別小学校は、鷺別地区の中心に位置し、鷺別中学校、鷺別保育所が隣接する文教地区として 120 年の歴史がある。また、室蘭市と隣接していることから、昭和 40 年代からベットタウンとして発展し、一時児童数が 1000 人を超える規模となったが、若草小学校の開校や近年の少子化により、現在は 260 人ほどとなっている。校舎は、昭和 30 年代に建てられた赤れんがの校舎と児童数が急増した昭和 40 年代に増築した鉄筋コンクリート建ての 2 棟がある。すでに、建築から 40～50 年が経過し老朽化しているとともに、度重なる増築により授業や教育内容の変化に対応しにくい校舎となっている。

このような状況を踏まえ、鷺別地区のもつ課題を解消し、より良好な教育環境を備えた施設と地域の核となる公共施設としての機能を併せもった学校となるよう整備するため全面的に改築事業を進めるものである。

## 2 鷺別中学校区の学校の現況

改築を進めるための必要な事項として、校舎の現況（面積・構造・築年・耐震診断結果など）と改築にあたっての課題・留意点などを以下の通り整理した。

### (1) 鷺別中学校区の耐震診断結果

(平成 24 年 1 月現在)

〈優先度調査・耐震(2次)診断結果一覧〉

No.	学校名	建物区分(棟)	構造	階数	床面積(m <sup>2</sup> )	建築年	優先度			耐震(2次)診断結果			耐力度調査	備考
							ランク(H20)	I <sub>s</sub> 値(最小値)	C <sub>70</sub> ×SD値(最小値)	α値(最小値)				
1	鷺別小学校	校舎1	レンガ造	2	1,019	S32	③	—	—	—	2,835	H22年度耐力度調査実施		
		校舎2	RC造	2	1,511	S40・43	③	0.43	0.47	—	—	H22年度耐震(2次)診断実施		
		校舎3	CB造	2	343	S37	③	—	—	—	4,019	H22年度耐力度調査実施		
		校舎4	RC造	2	367	S48	⑤	0.91	0.98	—	—	H22年度耐震(2次)診断実施		
		屋体1	S造	1	878	S47	②	0.19	—	0.76	—	H21年度耐震(2次)診断実施		
2	鷺別中学校	校舎1	RC造	3	3,061	S37・42・43・47	①	0.31	0.41	—	—	H21年度耐震(2次)診断実施		
		校舎2	RC造	2	754	S54	④	0.89	0.95	—	—	H23年度耐震(2次)診断実施		
		校舎3	RC造	3	665	S48	④	0.33	0.35	—	—			
		校舎4	RC造	3	916	S51	⑤	0.40	0.33	—	—			
		屋体1	S造	1	879	S45		0.72	—	1.33	H22耐震化済			
3	若草小学校	校舎1,3,4,5	RC造	3	3,938	S46・48・50・53		0.79	0.33	—	H14耐震化済			
		校舎2	RC造	3	850	S58		—	—	—	新耐震基準			
		屋体1	S造	1	1,176	S54		0.94	—	1.70	H14耐震化済			

※優先度ランク……棟ごと建築年数、コンクリートの強度で老朽化の状態等を評価した分類

※I<sub>s</sub>値……建物の強度を示す値 0.3以下は危険な建物と評価 0.7以上が推奨される

鷺別中学校区の3校の校舎及び体育館の耐震診断については、平成23年度までに結果が明らかになっている。その中で、鷺別小学校の体育館はIs値が0.19と非常に低く、改築が必要である。また、レンガ造の校舎は、耐力度調査結果から改築が必要となっており、RCの校舎は、Is値が0.43であるが、窓枠がすべて木製であり、校舎壁のブロックガラスが劣化し破損するなど老朽化が著しい。鷺別中学校は、平成22年に体育館の耐震補強を実施している。校舎はIs値が0.31～0.89とばらつきがあるが、すべてRC造（鉄筋コンクリート造）であり、耐震補強工事が可能である。また、若草小学校は、平成14年に大規模改修により耐震補強済みでIs値が0.7以上となっており耐震基準を満たしている。

## (2) 鷺別小学校の児童数の推計

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	学級	年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	学級
22年	52	30	43	46	54	52	<b>277</b>	<b>11</b>	31年	40	40	49	44	41	50	<b>264</b>	<b>12</b>
23年	40	54	32	44	45	53	<b>268</b>	<b>11</b>	32年	39	40	40	49	44	41	<b>253</b>	<b>12</b>
24年	51	40	54	32	44	45	<b>266</b>	<b>11</b>	33年	37	39	40	40	49	44	<b>249</b>	<b>12</b>
25年	50	51	40	54	32	44	<b>271</b>	<b>11</b>	34年	36	37	39	40	40	49	<b>241</b>	<b>12</b>
26年	50	50	51	40	54	32	<b>277</b>	<b>11</b>	35年	36	36	37	39	40	40	<b>228</b>	<b>12</b>
27年	41	50	50	51	40	54	<b>286</b>	<b>12</b>	36年	34	36	36	37	39	40	<b>222</b>	<b>12</b>
28年	44	41	50	50	51	40	<b>276</b>	<b>12</b>	37年	34	34	36	36	37	39	<b>216</b>	<b>12</b>
29年	49	44	41	50	50	51	<b>285</b>	<b>12</b>	38年	33	34	34	36	36	37	<b>210</b>	<b>12</b>
30年	40	49	44	41	50	50	<b>274</b>	<b>12</b>									

\* H24年度～H29年度の小学校1年の人数は、H23, 4, 25現在の人数から算出

\* H30年度以降の1年生は、登別市全体の将来推計人口とH23, 4時点の学校区の人口割合から算出

\* 小学校の学級数は、H23年度より順次1学級35人、H29年度より1学級30人として算出

## (3) 鷺別小学校区の子育て関連施設の状況

施設名	建築年度	床面積	備考
放課後児童クラブ	2線校舎 S40 築	6 3 . 0 0 m <sup>2</sup>	2線校舎は、 S40 築・S43 増築
放課後子ども教室	2線校舎 S40 築	1 2 6 . 0 0 m <sup>2</sup>	
鷺別青少年会館	S 3 1 年築	3 2 7 . 0 0 m <sup>2</sup>	現在地にS45年移動
鷺別児童館	S 5 3 年築	1 9 3 . 5 9 m <sup>2</sup>	
鷺別保育所	S 4 9 年築	6 4 3 . 9 0 m <sup>2</sup>	H8床等補修 H11 外壁等補修

## (4) 子育て関連施設利用者の推移

	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
放課後児童クラブ(登録数)	23人	20人	17人	未開設	
放課後子ども教室 (登録者数)	3,607人 (124人)	3,367人 (113人)	2,547人 (94人)	未開設	
鷺別青少年会館	15,830人	8,927人	8,039人	8,243人	
鷺別児童館	2,365人	2,219人	3,818人	4,587人	4,504人

### 3 鷺別小学校区の子ども関連施設の周辺整備方針

#### (1) 鷺別小学校

- ・ Is 値 0.19 と危険な体育館及び耐力度 (2635 点と 4019 点) ・ Is 値 0.43 の低い校舎については、全面改築とする。
- ・ 新設する鷺別小学校に【ことばの教室、児童センター (児童館・放課後児童クラブ)、青少年会館、放課後子ども教室、図書館機能】等を併設する。
- ・ 津波対策として、校舎を高層化し、避難所・防災機能を併設する。

#### (2) 鷺別中学校

- ・ 体育館は、平成 22 年度に耐震補強工事を実施済み。
- ・ Is 値 (0.31) の低い教室棟を耐震補強する。
- ・ 平成 23 年度に 2 次診断を実施中の管理棟及び増築部分も耐震補強する。
- ・ 補強工事中の仮校舎については、鷺別小学校の活用を検討する。

#### (3) 鷺別保育所

- ・ 担当部において検討中。

### 4 改築にあたっての留意事項

- (1) 現在地は、鷺別地区の中心地であり、中学校、保育所とも隣接しているので、そのよさを生かす。
- (2) 今後の鷺別地区の児童、生徒数の予測では、児童数は減少するものの少人数指導により教室数の減少は考えられないことから、現状の体制を基本として計画を策定する。
- (3) 鷺別中学校の校舎は、耐震補強が可能なことから現在の建物を補強する。
- (4) 鷺別小学校の改築にあたっては、隣接する教育関連施設が生きるように位置や機能を考慮する。
- (5) 鷺別小学校の持つ特性 (地域での役割、海岸に近いなど) を踏まえた計画を検討する。
- (6) 鷺別小学校の建築場所は、日照・電波障害・学校施設の位置・方向・出入口、通学路、グラウンドの位置を考慮する。
- (7) 改築予定の鷺別小学校の校舎は、文部科学省の基準面積 (普通教室 1 2 学級、特別支援学級 4 学級、多目的教室・積雪寒冷地補正など) では、5,557㎡となるが子育て施設を併設する場合、全体では、6,000㎡を超えることが見込まれる。  
Is 値 0.91(保育所側)と高い増築部分は、他施設に転用する場合、基準面積から除かれるため引き続き検討課題とする。
- (8) 必要教室数については、学校の規模を決める上で重要な要素であり、今後の児童数の推移、推計値を踏まえ、普通教室の必要数を考える。
- (9) 特別教室については、現在、鷺別小学校内に設置されている放課後児童クラブや放課後子ども教室、近隣の教育関連施設の状況を考慮し、地域の特性やあり方などを踏まえ、必要な教室の種類や数を検討し整備する。

## Ⅱ 鷺別小学校改築の基本構想



## Ⅱ 鷺別小学校改築の基本構想

### 1 鷺別小学校改築の基本方針

改築の基本方針は、登別市学校教育基本計画や情報化、少子高齢化、環境問題、東日本大震災などの社会情勢の変化、さらに、鷺別小学校の実態や課題点を踏まえて、以下の8項目とする。

- (1)心豊かな人間性を育む多様な活動に対応した施設
- (2)災害の教訓を生かした施設
- (3)教育等の中心地となる機能を有する施設(子育て関連施設の集中)
- (4)地域のコミュニティを高める施設
- (5)環境(エコ)に配慮した施設
- (6)バリアフリーを意識した施設
- (7)安心安全に配慮した施設
- (8)将来を見据えた設備の改変などを考慮した施設

### 2 学校施設整備の方向

基本方針に基づき、小学校の改築ではあるが、基本構想は学校運営の計画とも密接な関係がある。学校については、これまで取り組んできた小中連携、地域連携など時代の変化に対応した多様な教育内容に対応する学校施設として整備するため、次のような方向性を示す。

以下の要素について、基本設計の段階で十分に検討し取り入れることを提案する。

#### (1)心豊かな人間性を育む多様な活動に対応した施設

時代の変化に対応した学習活動に柔軟に対応するための機能と児童、教職員にとって使いやすい機能を併せもった学校施設として整備する。

- ・学年間の交流・発表など多様な教育活動が可能なスペースを確保する。
- ・様々な情報機器を活用した活動が可能となる施設とする。
- ・学校職員が指導しやすい施設とする。

施設案：各階に多目的教室(普通教室の2倍)・校内LAN・教育活動掲示板  
会議室・職員の更衣室

#### (2)災害の教訓を生かした施設

東日本大震災など過去の自然災害では、地域における学校の重要性が再認識されていることから、改築にあたっては、地域防災機能を備えた避難施設として災害時に必要な機能を最大限発揮できるように整備する。

- ・学校が海岸線に近く、海拔10m以上の高台までの距離が遠いことから、大津波対策として高層化を図る。
- ・地域の一時的な避難場所として、夜間や休日でも利用可能な施設とする。

施設案：4階建て・備蓄庫・汚水貯留槽・屋上までの非常階段・屋上フェンス

### (3) 教育等の中心地となる機能を有する施設(子育て関連施設の集中)

鷺別小学校は、中学校や保育所と隣接しており、今後も鷺別地区の教育等の中心地となることから、子育て環境の充実や生涯学習の拠点となるよう必要な整備を進める。

- ・ 鷺別地区に通級教室「ことばの教室」の分室をつくる。
- ・ 児童センター的な機能をもつ施設をつくる。
- ・ 幼稚園・小学校・中学校の連携や交流が可能なスペースを確保する。
- ・ 働きながら子育てをしている保護者が安心して児童を預けることができ施設をつくる。

施設案：放課後児童クラブ・放課後子ども教室・相談室・ことばの教室  
多目的ホール

### (4) 地域のコミュニティを高める施設

地域のコミュニティを高めるために、学校教育の機能のみではなく、学校の授業で利用しない時間帯や曜日などで施設を積極的に活用できるように、地域住民の文化・スポーツ活動・世代間交流、子育て支援活動など多面的な機能をもった施設として整備する。

- ・ 地域住民の交流を促すコミュニティ拠点を設ける。
- ・ 地域交流スペースを確保し、管理運営を明確にする。

施設案：図書室・和室・多目的ホール・地域ボランティア室・花壇・学校園

### (5) 環境(エコ)に配慮した施設

公共施設として地球環境にやさしい学校施設をめざすとともに、学校周辺の環境にも配慮した施設整備を行う。また、児童の環境学習にも対応できる施設とする。

- ・ 児童が自然環境に対する関心を高めることができる施設とする。
- ・ 自然採光や自然通風を考慮するとともに自然エネルギーの導入を図る。
- ・ 児童にとって快適な環境が保てるよう配慮する。
- ・ 近隣の住民に対して音や振動、グラウンドの砂ほこりなどに配慮する。

施設案：ソーラーパネル・風力発電・グラウンドの整備

### (6) バリアフリーを意識した施設

学校で生活する児童や教職員にとって、使いやすい施設にするとともに、障がいのある方を問わず全ての利用者が使いやすいユニバーサルデザインとする。

- ・ 移動が円滑にできる段差のない施設とする。
- ・ だれもが使いやすい施設とする。

施設案：多目的トイレ・エレベータ・階段手すり・施設の表示の工夫  
段差の解消(駐車場、グラウンド、教室など)  
低学年のある2階までのスロープ設置の検討

### (7) 安心安全に配慮した施設

児童が、安心して学校生活を送ることができるよう学校の安全性の確保に努める。ま

た、交通安全のほか不審者からの防犯対策機能を備えた施設とする。

- ・安全な校門の位置・安全な通学路を整備する。
- ・車の出入りする場所と児童が通行する場所を分離する。
- ・学校への不審者の侵入監視や死角の少ない施設設備を図る。

施設案：防犯カメラ・オートロックドア・保健室の充実(緊急搬送口、シャワー)  
学校周辺歩道の整備・防犯灯

### (8) 将来を見据えた設備の改変などを考慮した施設

施設の有効活用の観点から建物の長寿命化を図るとともに、少子高齢化が一層進み人口が大きく変動し、新たな学校の姿が求められた場合に、教室を様々な施設として転用が可能となるよう整備する。

施設案：上下可動式黒板・教室の可動式間仕切り壁・中学校校舎配置を考慮  
校舎増設可能な箇所の確保・福祉施設などの転用を想定した施設設備

## 3 校舎の規模及び設置のイメージ

(1) 必要な教室(平成 38 年までの児童数推計を参考にした規模とする。)

- ・普通教室= 12      ・特別支援教室= 3
- ・通級教室(ことばの教室)= 1
- ・特別教室=理科室・音楽室・図書室・家庭科室・視聴覚室
- ・多目的教室= 3
- ・管理施設=職員室・校長室・会議室・保健室
- ・体育館
- ・多目的ホール=児童センター的教室(放課後子ども教室・児童クラブが利用)

(2) 校舎の基本的なイメージ案

		屋上：避難スペース・エコ発電		
体育館	4階	5・6年教室・多目的教室 家庭科室・備蓄庫	増築可能 スペース	
	3階	3・4年教室・理科室 多目的教室・音楽室・図工室		
	2階	1・2年教室・職員室・校長室 多目的教室・視聴覚室		・多目的ホール ・児童クラブ
	1階	保健室・子ども教室・図書室 ことばの教室・特別支援教室		・ボランティア室

### (3) 新校舎の位置



## 4 改築までの計画

### (1) 構 想 . . . . . 平成23年度

- ・ 基本的な考え . . . . . 教育委員会の見解 現状・課題・方向性
- ・ 地域懇談会 . . . . . 鷺別地区の学校の耐震化構想の意見、要望の聴取
- ・ 改築検討委員会 . . . . . 基本構想の策定 (検討会議 = 6回)
- ・ 理事者・教育委員会・市議会総務教育委員会 . . . . . 鷺別小学校改築基本構想の報告

### (2) 基本計画・基本設計 . . . . . 平成24年度(予定)

- ・ 住民説明会 . . . . . 基本計画案をもとに新しい学校機能の説明会

### (3) 実施設計 . . . . . 平成25年度(予定)

### (4) 体育館・校舎建設 . . . . . 平成26年度(着工予定)

## Ⅲ 資 料

### Ⅲ 資料

#### 1 鷺別地区学校整備の方針

鷺別地区の学校整備にあたり、鷺別地区にある小学校2校と中学校1校の総合的な改築整備の方針を検討した。

まず、鷺別地区の今後の児童生徒数の状況であるが、平成38年度までの推計(資料1)によると、人数は減少するものの国が進める第8次教職員定数改善計画により少人数学級が実施され、平成23年度から1学級の定員が小学校1年生から順次35人に、平成29年度から30人と減少することから、平成38年度でも現在とかわらず、鷺別小学校・若草小学校で12学級、鷺別中学校で9学級編成となる。また、平成38年度の鷺別小学校・若草小学校の各学年の人数は70名を超えることから、仮に学校を統合した場合でも各学年3学級の18学級編成となり、12学級規模で大規模改修されている若草小学校への統合は難しいことがわかる。

次に、鷺別小学校と鷺別中学校の整備案(資料2)を第1案～第3案まで作成し、費用面や耐震診断の結果を踏まえて庁内会議で検討を進めた。その結果、第1案の鷺別小学校は建て替え、中学校については耐震補強工事とする鷺別地区の学校整備方針とした。

#### 鷺別地区児童・生徒数推計 (H22～H38) (資料1)

●若草小、鷺別小、鷺別中学校 児童・生徒数推計																							
鷺別小学校							鷺別中学校						若草小学校										
年度	人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	年度	人数	1年	2年	3年	年度	人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
平成22年度 (5月1日)	人数	52	30	43	46	54	52	277	平成22年度 (5月1日)	人数	80	98	101	279	平成22年度 (5月1日)	人数	61	71	57	44	53	51	337
	学級数	2	1	2	2	2	2	11		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成23年度 (4月1日)	人数	40	54	32	44	45	53	268	平成23年度 (4月1日)	人数	94	80	97	271	平成23年度 (4月1日)	人数	54	53	88	58	43	55	337
	学級数	2	2	1	2	2	2	11		学級数	3	2	3	8		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成24年度 (見込)	人数	51	40	54	32	44	45	266	平成24年度 (見込)	人数	108	84	80	282	平成24年度 (見込)	人数	55	54	59	68	58	43	337
	学級数	2	2	2	1	2	2	11		学級数	3	3	2	8		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成25年度 (見込)	人数	50	51	40	54	32	44	271	平成25年度 (見込)	人数	88	108	94	290	平成25年度 (見込)	人数	57	55	54	53	68	58	351
	学級数	2	2	2	2	1	2	11		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成26年度 (見込)	人数	50	50	51	40	54	32	277	平成26年度 (見込)	人数	102	88	108	298	平成26年度 (見込)	人数	51	57	55	54	59	68	344
	学級数	2	2	2	2	2	1	11		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成27年度 (見込)	人数	41	50	50	51	40	54	286	平成27年度 (見込)	人数	100	102	88	290	平成27年度 (見込)	人数	53	51	57	55	54	59	329
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成28年度 (見込)	人数	44	41	50	50	51	40	276	平成28年度 (見込)	人数	113	100	102	315	平成28年度 (見込)	人数	54	53	51	57	55	54	324
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	4	3	3	10		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成29年度 (見込)	人数	49	44	41	50	50	51	285	平成29年度 (見込)	人数	84	113	100	307	平成29年度 (見込)	人数	48	54	53	51	57	55	318
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	4	3	10		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成30年度 (見込)	人数	49	49	44	41	50	50	274	平成30年度 (見込)	人数	106	94	113	313	平成30年度 (見込)	人数	49	48	54	53	51	57	312
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	4	3	4	11		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成31年度 (見込)	人数	40	40	49	44	41	50	264	平成31年度 (見込)	人数	107	106	94	307	平成31年度 (見込)	人数	48	49	48	54	53	51	303
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	4	4	3	11		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成32年度 (見込)	人数	39	40	40	49	44	41	253	平成32年度 (見込)	人数	101	107	108	314	平成32年度 (見込)	人数	46	48	49	48	54	53	298
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	4	4	11		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成33年度 (見込)	人数	37	39	40	40	49	44	249	平成33年度 (見込)	人数	94	101	107	302	平成33年度 (見込)	人数	45	46	48	48	48	54	290
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	4	10		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成34年度 (見込)	人数	36	37	39	40	40	49	241	平成34年度 (見込)	人数	98	94	101	293	平成34年度 (見込)	人数	44	45	48	48	49	48	280
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成35年度 (見込)	人数	36	36	37	39	40	40	228	平成35年度 (見込)	人数	97	98	94	289	平成35年度 (見込)	人数	43	44	45	46	48	49	275
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成36年度 (見込)	人数	34	36	36	37	39	40	222	平成36年度 (見込)	人数	89	97	98	284	平成36年度 (見込)	人数	42	43	44	45	46	48	268
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成37年度 (見込)	人数	34	34	36	36	37	39	216	平成37年度 (見込)	人数	88	89	97	274	平成37年度 (見込)	人数	41	42	43	44	45	48	261
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12
平成38年度 (見込)	人数	33	34	34	36	36	37	210	平成38年度 (見込)	人数	85	88	89	262	平成38年度 (見込)	人数	40	41	42	43	44	45	255
	学級数	2	2	2	2	2	2	12		学級数	3	3	3	9		学級数	2	2	2	2	2	2	12

\*H24年度～H28年度の小学校1年の人数は、H23.4.25現在の住民基本台帳から算出

\*H30年度以降の1年生は、登別市全体の将来推計人口と、H23.4時点の学校区の人口割合から算出

\*小学校の学級数は、平成23年度より順次1学級35人、平成29年度より1学級30人に設定

\*中学校の学級数は、平成26年度入学生徒より、1学級35人に設定

\*中学校の生徒数は、鷺別小・若草小の6年生がすべて入学見込みに設定

### 【第1案】 鷺別小学校のみ改築 (資料2)

鷺別小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館=Is値 (0.19) 先行して改築が必要であるが・・・</li> <li>・ 高圧受電源設備や日常の管理を考慮、一体的に基本設計・実施設計し順次改築</li> <li>・ 校舎のIs値 (0.91) の高い増築部分 保育所の付帯施設として利用する</li> <li>・ 改築として補助申請する場合、既存の小学校施設はすべて解体</li> <li>・ 増築部分の他施設への転用が可能か、基準面積から除かれるか道教委に確認中</li> <li>・ 新設校舎=言語教室、児童センター、放課後子ども教室、図書館機能等を併設</li> <li>・ 津波対策=4階建、最上階に目的ルーム、備蓄庫など避難所機能を併設</li> <li>・ 屋上にソーラーパネルを設置</li> </ul>
鷺別中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館は、平成22年度に耐震補強工事を実施済み。</li> <li>・ Is値 (0.31) の低い教室棟を耐震補強</li> <li>・ 平成23年度に2次診断の管理棟及び増築部分も耐震補強</li> <li>・ 補強工事中の仮校舎については、小学校を活用 (解体時期の検討)</li> <li>・ グラウンドは、現小学校を使用 (国道側にフェンス新設)</li> </ul>

### 【第2案】 鷺小の改築及び鷺中の管理棟及び校舎の改築

小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1案と同様。</li> </ul>
鷺別中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館は、平成22年度に耐震補強工事を実施済み。</li> <li>・ Is値 (0.31) の低い教室棟及び2次診断を実施中の管理棟及び増築部分は、補強工事又は改築を検討</li> <li>・ 仮設校舎が必要なため鷺別小学校の改築後の工事となり、後年度の改修となる。(建設時期の長期化) (解体時期の検討)</li> <li>・ グラウンドは、現小学校を使用 (国道側にフェンス新設)</li> </ul>

### 【第3案】 鷺別小学校・鷺別中学校一体化による改築

鷺別小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鷺別中学校グラウンドに一体型の校舎を新築 (基本設計)</li> <li>・ 小学校体育館は新築、中学校体育館は耐震補強済み現体育館を使用。</li> <li>・ 新設する小・中学校に、ことばの教室、児童センター(児童館・放課後児童クラブ) 青少年会館、放課後子ども教室、図書館機能等を併設</li> <li>・ 津波対策=校舎を4階建、最上階に多目的ルーム、家庭科室、備蓄庫 (避難所機能)</li> <li>・ 建設順序=① is 値の低い小学校体育館を新築、②小学校校舎 ③中学校校舎</li> <li>・ 中学校の校舎=体育館との接続の関係から解体が先に、小学校を仮校舎に活用 (建設時期の長期化) (解体時期の検討)</li> <li>※一体型の基本設計で課題が多い場合、中学校体育館の新築も検討。(体育館への接続の問題など) (既設、中学校体育館の利活用の検討)</li> </ul>
-------	---

## 2 庁内会議・議会報告等の概要

### 第1回学校耐震化に係る庁内会議・・・・・・・・平成23年3月24日

- ・ 登別市立小中学校の耐震化優先度調査及び鷺別地区の診断結果について
- ・ 鷺別地区の子どもにかかわる施設の現状と課題について
- ・ 札幌市の子育て支援総合センターについて

**第2回学校耐震化に係る庁内会議**・・・・・・・・平成23年4月28日

- ・鷺別小学校の建替時に必要と考えられる施設について
- ・鷺別小・中学校合築校舎構想について
- ・室蘭市立旭ヶ丘小学校視察から

**第3回学校耐震化に係る庁内会議**・・・・・・・・平成23年5月20日

- ・鷺別小学校改築に伴う関連施設の周辺整備計画について
  - 第1案 鷺別小学校のみ改築
  - 第2案 鷺別小学校の改築及び鷺別中学校の管理棟及び校舎の改築
  - 第3案 鷺別小学校・鷺別中学校一体化による改築

**第4回学校耐震化に係る庁内会議**・・・・・・・・平成23年5月30日

- ・鷺別小・中学校改築検討案(子ども関連施設の周辺整備計画)について
- ・4F校舎内教室配置想定案について
- ・改築工事財源内訳表について

**第5回学校耐震化に係る庁内会議(理事者説明)**・平成23年6月18日

- ・鷺別小・中学校の耐震化及び子ども関連施設の整備計画について
- ・鷺別小学校改築事業等スケジュール案について

**市議会総務・教育委員会**・・・・・・・・平成23年11月21日

- ・鷺別小中学校耐震化等にかかる改築検討委員会の取組状況について

**第6回学校耐震化に係る庁内会議**・・・・・・・・平成24年 1月24日

- ・鷺別小学校建設に係る基本構想(素案)について

**3 地域懇談会の概要**・・・・・・・・平成23年 7月19日

(1)鷺別地区学校耐震化計画の概要説明

(2)地域住民からの意見・要望

- ・津波に強い施設(高層化、海岸に対して垂直方向に)にしてほしい。
- ・地域の高層防災拠点としての役割をもたせてほしい。
- ・太陽光など新エネルギーの活用した施設にしてほしい。
- ・地域に緊急防災放送ができる施設を整備してほしい。
- ・児童館、放課後子ども教室、児童クラブの施設を充実させてほしい。
- ・地域の児童が活動できる集会施設を整備してほしい。
- ・青少年会館の代替施設としてのスポーツ開放施設にしてほしい。
- ・幼児、児童、生徒が学ぶ文教ゾーンとしての連携した取組をしてほしい。
- ・学校、家庭、地域、PTAの連携強化をしてほしい。
- ・地域の図書館としての活用をさせてほしい。
- ・地域の気軽な集会ができる施設にしてほしい。
- ・地域住民の避難施設として活用できるようにしてほしい。

**4 改築検討委員会の概要**

(1)鷺別地区学校耐震化改築検討委員会

①目的

鷺別地区の学校整備にあたり、できるだけ地域の声を反映するために、改築検討



委員会を設置する。鷺別小中学校保護者、地域住民、関係団体等と十分協議をし、改築、耐震化に向けた課題の解決をはかりながら、鷺別小中学校の耐震化を推進していく。

## ②協議事項

- ・校舎の配置及び環境整備に関すること
- ・施設の内容等に関すること
- ・その他必要と思われる事項に関すること

## ③委員会の構成

小中学校校長、小中学校PTA代表、幼稚園PTA代表、保育所関係代表者（所長）、学校評議員、地区町内会代表者、鷺別地区連合町内会代表者、教育委員会（教育長、部長）、総務部長の15名前後を委員とする。

事務局は、市で統括し、次のものをあてる。教育委員会（参与、次長、総務部総括主幹、建築主幹、担当員）、総務部（政策推進室）、都市整備部（建築住宅総括主幹、主査）

## (2)改築検討委員会の経過

### 第1回改築検討委員会・・・10/11(火) 18:00

改築検討委員14名と市の担当者他に、市議会の総務教育委員会の議員6名が傍聴されるなか開催される。委員長には、学識経験者の石井憲一氏が選任され、会の運営にあたる。教育委員会事務局からの鷺別小学校改築に向けた基本構想案が説明され、その後質疑応答を行う。

### ○鷺別小学校の改築整備の視点



## ○主な意見交換の内容

- ・児童生徒の交通安全対策のため人と車を分離した道路整備が必要と思う。
- ・児童センターは青少年会館に変わる施設としての利用が考えられると思うが、児童館や放課後子ども教室や、放課後児童クラブなどとも一体的に運営することで費用面での効果も検討されることになると思う。
- ・新たな学校は、中学校グラウンドと小学校グラウンドには2 mくらいの段差があり、建設位置によっては、段差が発生し、技術的にどのようにしていくのか、今後も確認して行きたい。
- ・町内会や地域団体が自由に使えるスペースは必要だし、要望して行きたいが、そうした場合は、学校側と人の出入りに関してはルール作りも必要になってくるものと考ええる。

## 第2回改築検討委員会・・・10/21(火) 15:30

視察校：室蘭市立旭ヶ丘小学校

視察者：改築検討委員7名 鷺別小学校1名 市議会議員1名 子育てG1名  
鷺別公民館1名 事務局員7名

### 視察後の委員からの意見・感想

#### ○体育館

アリーナについては、多目的ホールも設置されており、児童センター、放課後児童クラブの機能が併設されており有意義である。

#### ○防犯・安全

子ども達の安全に配慮するなど学校としての機能を充実させる必要がある。

#### ○図書室

子どもたちは活発に活用しているようだが、市民の利用については、難しさがあるようだ。

#### ○環境

照明やセキュリティは大いに参考になった。鷺別小学校も交通、日照、風向など地域の環境への影響も熟考すべきである。

#### ○教室施設

多目的スペースが多く参考としていくべきである。

#### ○学校施設

地震に対する防災面での期待が大きいが、子ども達の未来を見据えた教育の場であることが最も高い順位であることから、教育とコミュニティのバランスがとれた施設であることが望ましいのではないかと。

## 第3回改築検討委員会・・・11/18

### 主な協議内容

#### ○充実した学校施設として

- ・教室は面積を広く取った方が、児童にとって良いと思う。

- ・階段は、低学年が利用することを考えスロープ状にするなどの方法も考えられる。
- ・旭ヶ丘小学校のグラウンドは、砂ボコリのたたない特殊な砂にとりかえたという話を聞いた。鷺別小学校についてもそのような対応をして欲しい。
- ・太陽光発電は電気の需要を満たすことがないので安易な導入は考えない方がよい。
- ・周辺の緑の配置にも配慮が必要である。

#### ○放課後子ども対策として

- ・放課後児童クラブと放課後子ども教室が一体で示されているが、現在登録者が、子ども教室約120名、児童クラブ約40名であり教室2つ分のスペースは必要である。
- ・市の財源を持ち出してでも、子ども教室、児童クラブの面積を確保してもらわねば運営は厳しいことを理解してもらいたい。

#### ○多目的に利用できる施設に関わって

- ・多目的ホールを児童センターと青少年会館の利用者が一緒に使うとしたら、現在でも利用度が高く、日中使えるか疑問である。
- ・保育所も含め色々な機能を充実させた方がよいので、建物も1～2階はもっと建物の幅を取ったイメージがよいのではないか。
- ・学校図書館の地域利用は、現在鷺別公民館の図書館を利用する方が多く、敢えて学校に図書を借りに行く必要性は感じられない。公民館の図書館機能の充実が大事ではないか。
- ・地域ボランティアのための部屋を設けてくれるのは、大変ありがたい。

## 第4回改築検討委員会・・・12/21

### 基本構想案の説明

- ・8つの改築の視点（P7～P9）
- ・施設の敷地概要図、新小学校のイメージ図（1階から4階ごと）（P9～P10）

### 主な協議内容

#### ○放課後子ども教室

- ・前回のイメージ図では、子ども教室は1教室を確保されていたが、今回のイメージ図では、図書館と一緒にしている。これでは、図書館には机、椅子も配置をされ、使い勝手が悪いのではないか。しっかりとした教室のスペースがないと運営上難しい。人数的にも1教室では足りない状況を理解し、子ども教室のスペースを確保して欲しい。
- ・運営上、1階、2階と別れると、安全対策などの面で不十分になる。やはり、一箇所で運営できるように考えてもらいたい。

#### ○スロープの設置

- ・スロープの要望については、費用面、一定の敷地の確保と言う面で難しいのか、福祉では階段の手摺に触れているだけです。しかし、階段の手摺と言うのは一面では危険性もあり、全面的でなくても1年2年の低学年のために、スロープの確保を再度お願いしておきたい。

#### ○通学路

- ・イメージ図における歩道、車道の関係ですが、イメージ図から見ると、多くの子ども達が通学道路として使っているラッキーに抜ける市道（青少年会館側）は、歩道もなく、道路幅も狭く、近年、住宅が張り付いてきていることから、交通安全の面では、危険であるとの指摘もあります。また、市の方に、この市道については、歩道の整備等を地区要望などでも要請をしているところでもあります。現行の場所を玄関として子ども達を行き来させるのであれば、いっそスクールゾーンなどにするなど、整備が必要になるのではないかと、思う。
- ・学校の立場から、全体の道路状況を話させてもらおうと、一番心配なのは、国道側の入り口で交通量も多く、毎朝立って子ども達の通学を見守っている。ご指摘のあった青少年会館のところの市道についても、歩道と車道としての分離がはっきりあることが望ましい。
- ・歩道、車道の分離の問題は、ある意味では、駐車場の問題でもあり、安全面で多少離れることがあっても、しっかり分けて考えたほうが良い。
- ・道路整備については、子どもの安全を考えるならば、駐車場が離れてもやむをえない、ということも考えて、方向性を出していく必要がある。

#### ○地域コミュニティ

- ・学校改築に伴い、地域とのコミュニティ、開かれた学校として、多くの方に出入りすることが構想の中にでも示されてる。都会の学校では、危険防止、安全対策から、出入りを厳しくしている実態がある。玄関などの出入りについては、鍵管理をどうするか考える必要がある。

#### ○学校の自然環境

- ・8つの視点の中に、「環境緑化」という視点があるが、全体的な緑化をどのように行うのか。

#### ○防災対策

- ・防災の関係で、私の町内会は、近くに高い避難場所がない。津波の時、若草町の自動車学校まで逃げるとしても線路を渡らねばならないなど課題がある。お年寄りなどは近くに避難する必要があるが、改築の校舎には、多目的ホールなどが設けられているので心強い。災害の際には開放してほしい。
- ・防災の面から、4階建は相当高いように思うが、イメージ図の場所に学校が建つとすれば、中学校の土手の下となり（およそ1.5 m 周辺は海拔4.9 m）あまり高い建物であるとは言えないのではないかと、思う。

#### ○防塵対策

- ・グラウンドの防塵対策は、小学校の砂を入れ替えて防塵対策を行うとあるが、実際に最も防塵対策が必要なのは、中学校のグラウンドになるのではないかと、思う。

## 第5回改築検討委員会・・・1/30

### 事務局構想案を説明

#### 主な協議内容

- 校舎の位置に対する意見

- ・ 小学校の改築位置が前回と同じ場所が 1 案（青少年会館側）、今回 2 案として現行の小学校体育館横での改築が示されたが、こうすると、スーパーラッキー側（若草方面）の道路を通学路とする必要がなくなり、交通安全の面では 2 案のほうが良い。若草方面からの通学者数は 100 名以上で道幅が狭く、歩道もなく、「朝 7 時 30 分から 8 時過ぎまでスクールゾーンにしてほしい」と町内会でも要望を上げているが、反対する住民がいれば出来ないということで、事実上困難となっている。今回提示された国道側を校門とする方が交通安全面からよいと思う。
- ・ 小学校での一番の心配は、通学の安全であり、そういった意味では、2 案のほうがよい。また、低学年のことを考えると低層のほうが使い勝手は良いが、防災上のこと高層であるほうが安全だ。
- ・ 皆さんのご意見を伺っていると 2 案が相当有力と言う気もします。ただ、全体の敷地関係を考えて、駐車場の整備も含めて全体の道路形態を考えながら進めていかないと安全面が高まっていかないと考えます。
- ・ 2 案でいく場合、通学路は国道側になるが、その場合、ガードレールは今のものより、頑丈なものの方が良い。

#### ○施設設備に対する意見

- ・ 風力発電であるが、どうも思ったほどの電力を確保できずに、経費だけ嵩むと言った指摘がある。慎重に判断をした方がよい。建物の天井は、10cm 下げただけで建設費が大きく違うという話を聞いた。経費面での参考にしてほしい。
- ・ 鷺別は西風がふくと砂ぼこりのひどい。風対策を行っていく必要がある。
- ・ 子どもの意見に「プールを作って欲しい」という意見があるが建設の考えないのか。
- ・ 現在の姿ばかりではなく、10年後、20年後に鷺別のこの地域は、室蘭側、登別側、どちら側の人口が増えるのかなども考慮して構想を進めて欲しい。
- ・ 高校では、必ず玄関に学校関係者が出入りをチェックできるようになっている。安全面から人の出入りが見えるような構造にした方がよい。

## 第 6 回改築検討委員会・・・2/24

### ○事務局から構想案修正点の説明

#### ○主な協議内容

- ・ 財政的に相当厳しい状況にあることは認識しているが、市内の改築した学校は、木材が使用され、温かみがある建物となっている。財政上相当難しいことは承知しているが、是非、そういった配慮も提案しておきたい。
- ・ 防災上の様々な機能を強化してもらいたい。
- ・ 高い建物は、子ども達に負担が大きいが、安全な学校生活が。
- ・ 住民説明会では、CGなどを活用し建物の具体的なイメージを紹介すると話し合いが充実するのではないか。

#### ○委員長のまとめ

- ・ 微調整はあるとして、改築検討委員会の基本構想案として最終的にまとめられたと判断する。防災面もあるが学校は教育機関であり、教育機能の充実した上で、様々

な機能を付加していくものとする。

- ・ 今後は、基本計画、本設計、実施設計、本工事等と進められるが、改築検討委員会の構想案がどのように具体化されていくのか見守っていく。
- ・ これまでの委員の協力と熱心な意見交換により進められことに感謝する。

## 5 関係者へのアンケートの結果

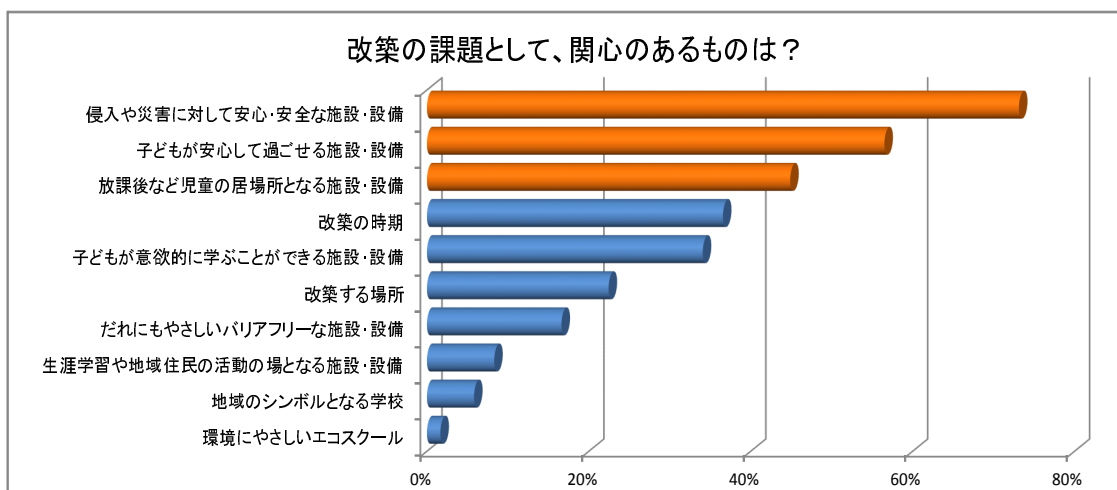
(注意：アンケートの記述については、改築に関わる意見のみ表記する。また、同種の意見は、内容が変わらない範囲でまとめ表記した。)

### (1) 鷺別小学校保護者への改築に対するアンケート

平成23年12月実施 保護者数=209 回答数=122 回答率=58,3%

#### ①改築の課題として関心のあるもの（3つ選択）

①改築の時期	時 期
②改築する場所	場 所
③子どもが意欲的に学ぶことができる施設・設備	学習環境
④子どもが安心して過ごせる施設・設備	生活環境
⑤侵入や災害に対して安心・安全な施設・設備	震災・安全
⑥生涯学習や地域住民の活動の場となる施設・設備	地域コミ
⑦だれにもやさしいバリアフリーな施設・設備	福 祉
⑧地域のシンボルとなる学校	中心地
⑨放課後など児童の居場所となる施設・設備	子育て
⑩環境にやさしいエコスクール	環 境



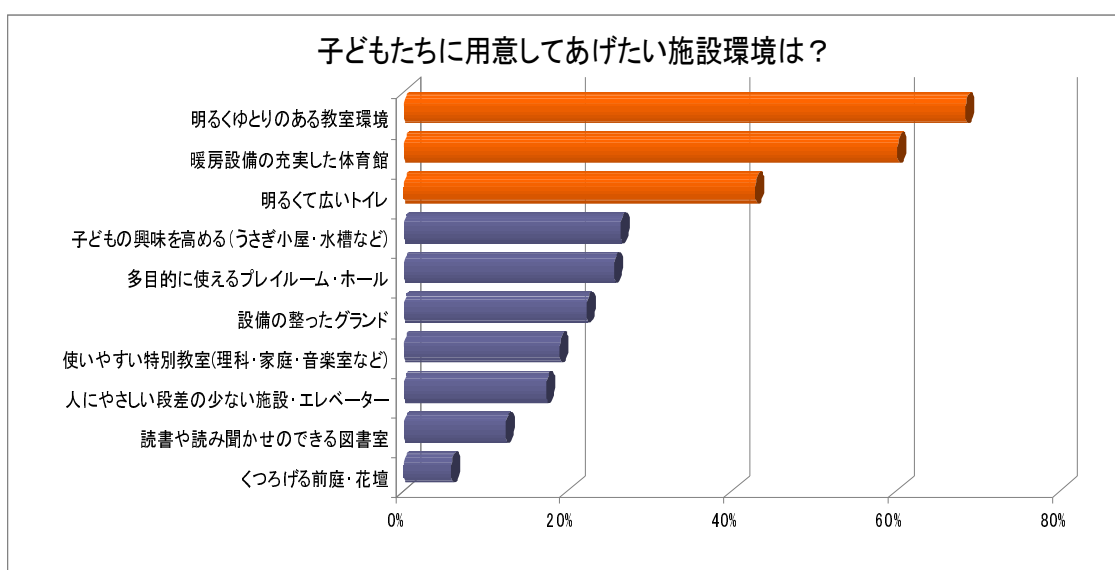
### 改築の課題に意見

1	地震・津波	・今年3月の大震災は他人事ではなく、私達の身にいつ同じ事が起こってもおかしくな いと思います。耐震性のしっかりとした学び舎を出来るだけ早急に建てていただきたい と思います。また、海岸も近いので「安全な設備」はとても大切だと思います。
2		・改築後は避難場所になると聞きましたが、1日も早く改築でき、津波や災害時に役立つ

		学校が出来る事を強く望みます。(3月の津波避難の時は,仕事で迎えに行くのが遅くなり,迎えに行くと2階に居るとの事でしたが,2階では心配でした。早く4階建てになると安心して学校に通えるようになると思います。
3		・津波対策
4		・海にも近い学校なので,津波や地震等災害対策も考えた学校にして欲しいと思います。
5		・耐震性を強くして,地震や津波にも強い学校を造って頂きたいと思います。
6		・大至急,改築して欲しいです。地震があったら古いので心配。死ぬと思う。
7		・3月の震災を受け,海から近い場所に学校が有るという事に不安を覚えました。近くは中学校,保育所もあり,小学校の児童だけでなく,地域の子どもを全体で守れるような学校づくりをして頂けたらと思っています。
8		・今回の地震で,この地区一体は神社山まで行かなければ一瞬で津波にのまれる,ということが明らかに分かりました。しかし,鷺別川があるので,神社山に行くことも出来ない可能性がありますよね。子どもたちを守る為にも,なるべく高くして欲しいです。
9	安 全	・老朽化が気になっているので,早めに改築を希望します。
10		・職員玄関が参観日等,誰でも入れるので安全性について,もう少し強化して欲しいです。
11	福 祉	・障がい児が通う学校としては,バリアフリーは,絶対に必要と思う。エレベーターや階段は無くしても,全てスロープにする等。
12		・体育館をゆとりの有る大きさにして欲しい。
13		・給食のエレベーターが有ると良いと思います。私の通っていた学校(本州)にありました。24年前です。
14	環 境	・鷺小の卒業生として40年前と殆ど変わらない佇まいが良いのか,悪いのか,鷺小は国道沿いに有るので,誰もが通学してみたくなる様な素敵な学校に変わり,鷺別の1番のシンボルに成れば嬉しいのですが,それと施設や設備も大切ですが,もっと緑が多くても良いと思います。国道側に何となく昔から有る木々が何となく大きくなってきているという感じですが,海からの風が強いことも有りますが,もっと木や花が校庭等に有ると良いと思います。それから,セキュリティには,万全を期して頂きたいと思います。
15		・今の学校は古いせいか,全体的に薄暗いので,光のいっぱい入る明るい校舎にして欲しいです。
16	地 域	・放課後の居場所となる,施設を充実させて欲しい。例えば,児童館等を学校の敷地内にあると安心します。
17		・学校を卒業しても地域住民の活動の場であれば気軽に訪れることができ,小学生の頃の純真な気持ちを思い出す機会になると思います。
18	その他	・決して大きくなくても,豪華な施設でなくて良いと思います。国にもお金の無い時代。他県の模範となるような予算を低コストで抑えたアイデア溢れる工夫の凝らした学校である事を願っています。
19		・改築工事のことや,新聞,議会議長さんのブログ等で先に知ったことは大変残念なことであえます。しかし,このように保護者にアンケート調査をして頂いた事はありがたいと思います。今後,工事関係で色々な方々が学校内に入ると思われるので,他のところより情報が入るのではなく,いち早く学校から確実に情報が入ることを願います。

②改築にあたり、子どもに整備したい施設環境（3つ選択）

①くつろげる前庭・花壇	校庭
②設備の整ったグラウンド	グラウンド
③明るくて広いトイレ	トイレ
④明るくゆとりのある教室環境	教室
⑤使いやすい特別教室(理科・家庭・音楽室など)	特別教室
⑥読書や読み聞かせのできる図書室	図書室
⑦暖房設備の充実した体育館	体育館
⑧多目的に使えるプレイルーム・ホール	多目的ホール
⑨人にやさしい段差の少ない施設・エレベーター	特別支援
⑩子どもの興味を高める（うさぎ小屋・水槽など）	特色ある教育



1	普通教室	・ 出入口のドアや壁が無いオープンな教室にすると、いじめの防止や集中力が身に付くという学校を見た事があり、とても魅力的でした。
2	特別教室	・ 家庭科室を使いやすくして欲しいです。6年生は他の学校がエプロン作りをミシンでやっていますが、驚小は、ミシンの古さが原因で使用できず、手縫いでした。また、レクなどで使用する事も多いので、きちんとして欲しいです。
3	オープンスペース ・多目的	・ 図書室、トイレ等、誰も居ない所へ一人で行くのが怖いと感じることが有るので、明るくて広いだけでなく、安心して行ける様な、何か工夫をお願いしたいです。
4		・ 単に本を貸りるだけでなく、ゆったりと本を読んだり出来、図書館に行くこと自体が楽しみになるような明るい空間になると良いと思います。
5		・ 特別教室は昔から学校には有るけれど、1年に数回しか入らない場所というイメージでした。自由に開放とまでは言いませんが、もっと有効に使えたらと思います。例えば、ピアノやギターが自宅には無いけど、弾いてみたいと思う子ども達には楽器に触れる機会を持たせてあげたいと思うし、もう少しオープンに活用して行けたら良いのではと思います。
6	ホール	・ 多目的ホールいいですね。家庭科室でしたら調理場も充実させて、例えば地域の方々と一緒に調理して食べるとか、地域の交流を兼ねたお料理実習が出来る設備、広さを確保する。屋



		上には高くフェンスを張り、鷺別を一望できるようにするとか。体育館は広いといいですね、いつも、運動会は悪天候なので、いざという時は、体育館でも出来るように市民体育館くらい、這いいすぎですね。
7		・閉塞感のない、開けたプレイルームがあると子ども達がくつろげるのではないのでしょうか。子ども達の行動も把握出来、イジメ問題が減ってくれるのではと、期待します。また、鷺小は校舎内に「児童クラブ」「ひなわし」があり子どもの居場所としてとても良いと思うので、良いと思うので、良いものは残して頂きたいと思います。
8		・映画や音楽鑑賞が出来るホール。換気が行き届いた教室。
9		・放課後に誰もが使える教室（ホール）や遊具（外も）があったら良い。
10		・放課後も遊べる施設や、習い事などを出来る場所を作ってもらいたい。
11		・地域の中でも中心的役割をする学校なので、どのような人も使用できるトイレ、水飲み場、（トイレは2階にも必要）段差が少なく、幅や奥行きのある階段、エレベーター、各教室や廊下が暖かい事。後は、扉の無い教室等。
12	福祉	・特に望むとありますが、人にやさしい施設、子どもの興味・関心を高める施設を望みます。（3つ選ぶのは難しいです。）
13		・温食等重たい物を運ぶ給食運搬用のエレベーターが有ると、運んでる途中でこぼしたりとか、防げるのでは。私が通っていた頃は、プールがあったので、何かの廃熱を利用して温水プールが有れば、夏休み等子ども達が自由に行けて良いと思います。
14	トイレ	・トイレは、やはり皆が使いやすく、明るいトイレが良いと思います。今の校舎のトイレは改築されて綺麗になっているので、トイレを我慢するとは聞かないけれど、上の子ども達は改築前のトイレだった為、学校で出来ないと我慢して家に帰って来ることがあった為です。
15		・各階にトイレを設置して欲しい。階段の両側に手摺りを。
16		・室内プールが有ると良い。教室内をもっと明るくして欲しい。トイレも綺麗にして欲しい。
17	プール	・プールがあれば良いと思います。冬でも運動の出来るスケートリンクが有れば良いと思います。
18		・中庭があったら良いと思います。
19	屋外	・各学級毎の畑、花壇があって、子ども達が協力して何か作って、収穫して食べたり、教室に花を飾ったり出来れば、楽しく勉強できるかなと思います。
20		・グラウンドの遊具を充実させて欲しいです。放課後や休日でも、児童が学校へ来たいと思うような遊び場をとしたいと思います。
21		・グラウンドにアスレチック等の遊具が欲しい。
22		・学校も新しくより良い環境になって欲しいと思うのは当然の事ですが、登下校の道をもっと校舎側の様に、綺麗にして欲しいです。水溜りも多く、ガードレールも無い。違いすぎます。
23	その他	・特別なものは必要ないと思います。

### その他の意見

1	・期待しています。
2	・現在、駐車スペースが少ないと思います。グラウンドが広いので少し整備して駐車スペースを作って欲しいです。運動会の時など、大変なので。

3	・海が近いので、津波に対する対策を強化して欲しい。
4	・教室内では、ランドセルや、お道具箱、また、廊下に設置されているロッカーと、個々の持ち物を収納する場所が、必要量と合っていないと感じます。特に冬は、ロッカーに掛けられている上着等がぎゅうぎゅうに掛かっていたり、ジャンプスーツだと裾が床に付いていたりするのを見かけます。子ども達が使いやすく、ゆとりの有る収納スペースが一人ひとりに与えられたらと思います。
5	・学校には直接関係無いと思いますが、通学路の歩道橋の階段を直して欲しいです。(かなり傷んでいて、危険であると思います。)
6	・勉強するところをもっと広く出来ると良い。
7	・早く改築が進む事をお願いします。周りの公園で遊ぶ所が無いので、改築時には是非グラウンドに遊具を充実させて欲しいと児童館も学校の敷地内にあればとても助かります。
8	・太陽の光が沢山入る、カビの無い校舎をお願いします。また、各教室にプラズマクラスター空気清浄機の配置が有ればと思います。また、給食のエプロンを元に戻して欲しいです。また、一人ひとりにお盆、はし等を用意して欲しいです。
9	・改築は、なるべく早くするべきと思う。
10	・海岸に近い場所にある驚小ですが、立替して大津波を考えた構造になるのでしょうか。
11	・とにかく古くて寒い学校を、早く綺麗にして欲しい。
12	・図書室の本の種類を増やして欲しい。

## (2) 市内障害者福祉関係団体 アンケート結果

協力団体 ・肢体不自由児・者父母の会 ・身体障害者福祉協会  
 ・手をつなぐ育成会 ・障がい児親子の会ぽぽくらぶ

### ①特別支援学級の児童のためにどんな施設や配慮が望まれますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2階があるならバリアフリーとして昇降機やエレベータの設置</li> <li>・ 情緒障害学級用に、個室的な学習スペース (広い空間ではなく)</li> <li>・ 災害時の避難を考えるとすべて1階がいいとは思いますが、津波は1階は危険</li> <li>・ 車いすに乗っていてもできるだけ他の生徒と同じように活動ができるバリアフリー化        それも、健常者の目線ではなく、障害者(児)の目線で、細部にわたり話を聞いたり、専門スタッフや関わる先生などに相談するなどして、当事者の立場になって改築に臨んで欲しい。</li> <li>・ 障害によっては、排泄方法が個々違うのですべてに対応できるトイレ等の検討を(病院、施設、高速道路のPAなど参考に)</li> <li>・ トイレや着替えなどプライベートの場所の確保</li> <li>・ 災害時の避難場所としての機能を果たすような配慮をお願いします。また、エレベーター設置が可能なら、非常時にも作動するエレベーターを設置してください。</li> <li>・ 活動がスムーズにできる手洗いやスイッチの位置などほんの少しの工夫でみんなが使用できるようになることがたくさんあります。バリアフリーの工夫をしてほしい。</li> </ul>
---

### ②地域の子育てや福祉の拠点として、どんな施設や配慮が望まれますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のひなわしメートや休日 (土曜や長期休業中) のみのレクリエーション的なものがあるといいのではないか。</li> </ul>
--

- ・地域に門戸を広げると不審者の心配も出てきます。
- ・障害児も児童クラブ、放課後の預かりなど学校以外でも地域に関わることでできる環境を望みます。
- ・肢体不自由児には訓練が生涯必要です。地域で充実した訓練ができるように。
- ・「障害があっても地域で暮らしていきましょう」と自立支援法や特別支援教育はとても素晴らしい理念を掲げています。それなのに障害があっても通える高校、働く場所、住む場所、交通機関、利用できる福祉サービスなどがなくては生活ができません。それらをひとつずつ構築していくことを早急に望みます。また、医療機関とも離れることができません。医療行為があっても普通に生活できる時代です。配慮した施設を望みます。

その他、ご意見がありましたら記入してください。

- ・是非、話し合いをたくさんしてよい学校にしてください。
- ・親たちからの一方的な意見ではなく、子どもたちのためにどうしていけばよいのかをもっと長いスパンで一緒に考えてほしい。子どもたちの思い、何が困っているのか、子どもと一緒に考えてほしい。困っているのは親ではなく子どもです。

### (3) 鷺別小学校児童の「みらいの鷺別小学校」

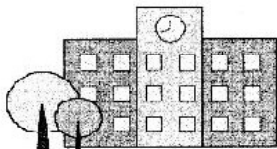
4年生と5年生が冬休みの自由研究のひとつとして絵と文に仕上げてくださいました。

#### 未来の鷺別小学校アイデア大募集!

今度、鷺別小学校が新しく建て替えられることになりました。  
いま、いろいろな人達がどんな学校にしたらよいかを話し合っていますが、その中で、みなさんの考えをぜひ聞いてみようということになりました。  
ぜひ、みなさんのアイデアを絵や文で自由にかいてみてください。

- ◎こんな校舎がいいな
  - ◎新しい学校にはこんな物があったらいいな
  - ◎教室にはこんな工夫があったらいいな
  - ◎体育館やグラウンドはこんな感じだったらいいな
  - ◎こんな仕組みがあると便利だな
- などなど…

絵や文でわかりやすく書いてください。



みらいの鷺別小学校

5年 2組 なつき 葵

私が考えたのは、自分自身用カードを機械に  
さし入れ、当てたりしたらお母さんに「今着きました」  
「今、帰りました」というメールがとどく仕組みです。  
下校するとき、帰りの会が長引いたりしてしまうこと  
があるので、帰りがおそくなりお母さんが  
心配します。その心配をしないため、この装置を  
設置することによって、児童・保護者も安心します。

みらいの個別小学校は、

重た物のしくの体験が  
あて

あてがある学校

4年 1組 なまえ 凜

みらいの個別小学校では、教室が広く、発音しやすいので、うさぎや魚のほかに、いろいろな重た物をかき、命のたん生やうしないを体験できる学校が、いいなと思います。

みらいの個別小学校

カーテン トイレ

教室

4年 1組 なまえ 優

教室は、たとえば、1年生と4年生があつたら、教室のガベをなくしてほしいです。  
・トイレは、全部の階につけてほしいです。  
・全部の教室にカーテンをつけてほしいです。

おねがします。

みらいの個別小学校

学校

校庭

3う下  
3う下  
にヒーター

4年 2組 なまえ 綾香

学校 4階建てで、おくじょうもあつたりい。

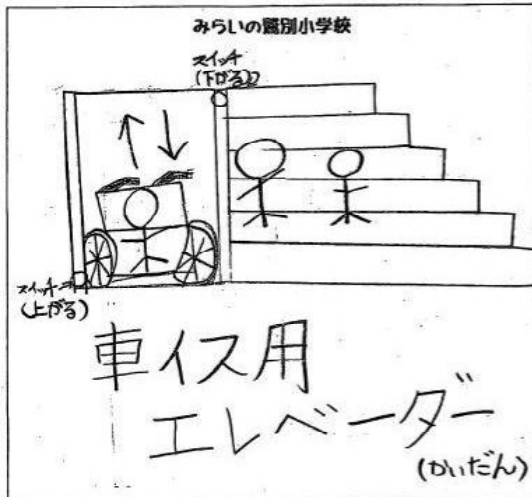
校庭 ジャンクルジムがあつたり、たくさん遊具があつたり、たのしい。

3う下 3う下にヒーターがあつたら、3う下にヒーターがあつたらいい。

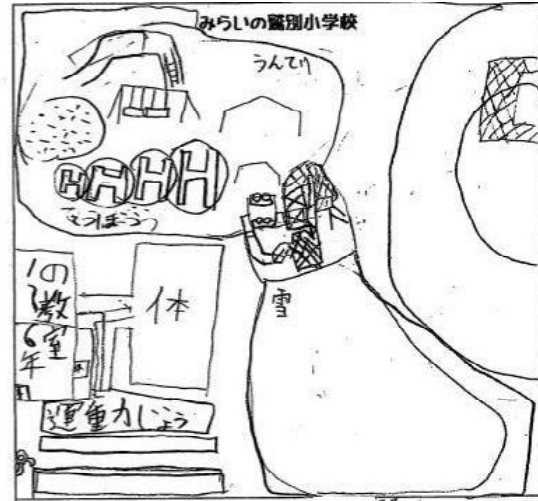
みらいの個別小学校

5年 2組 なまえ 真白

「屋上があつたらいいな」と思っています。理由は、回りが見わたせると、景色はこんなにあるというのを、上から見て、改めてわかつたらいいと思つたからです。もし作るなら、落ちる危険はないように、さくをかんじょうにしたらいいと思います。



4年 2組 なまえ 萌衣  
 車イス用エレベーターは車イスにのったままかいたんを登る木製機械です。車イスにのってる子といっしょにかいたんをあかれるように、手で何回も登ったり下たりできるように左にあるスイッチをおすとゆくり登ったりします。私は使わないけれど車が車イスにのってる人だからこういう木製機械もつけてほしい。



4年 2組 なまえ 琴美  
 てつぼうも2人でつて体育館を運動かいどうができるような広さうんでいま1年生でもできる。すべり台にはできるだけおおいをして、雨をもぬれないようにする。雪がたつて公園が使えなくなってきた雪という戸外雪をあつめて透きぶ。(放課後でも)1年生から6年生と体育館をわまた戸外運動かいどうを作る。新しい、ジャングルジムみたいなあそびをつくる。

その他の児童の考え

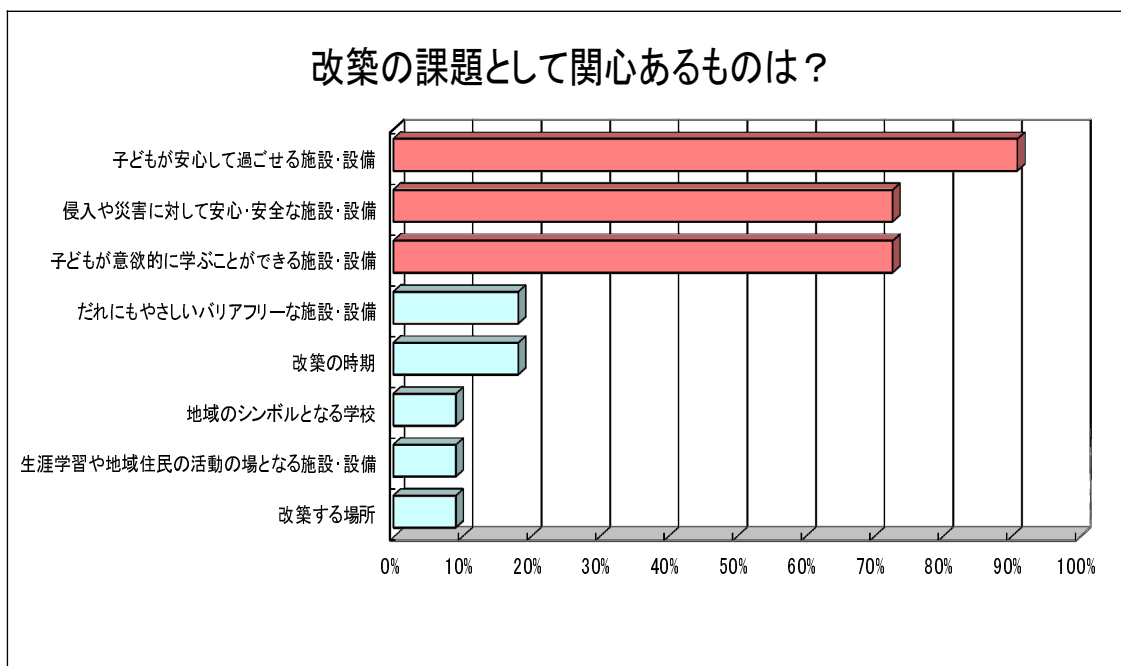
- うしろに(教室)カバンやジャンパーがおけるロッカーがあつたらいいと思います。2階にトイレをつけてほしい。体育館で遊べないときにプレイルームがあるといい。外にはすべり台、ジャングルジムがあるといいと思います。(みう)
- 学校をきれいにしてほしいです。3階と2階の間(校舎の外壁の)に、鑑別小学校と(名前の看板)入れてほしいです。学校を新しくするとき、津波が来てもこわれない学校がいいです。(みらい)
- 私は、エレベーターをつけるといいと思います。なぜなら、しょうがいのある方たちが不べんもなく学校に来れるからです。しかも、今先生方がだっこして階段をのぼっているのいいし、車いすをかえなくてもいいし、足をおったときも使えろと思います。参考にしてください。(めぐみ)
- 教室の向かいにトイレと水飲み場がほしい。校庭にもうちょっと遊具がほしい。学校全体を明るく、温かくしてほしい。図書室を広くして本もたくさん置いてほしい。図書室に日が当たって明るい目が悪くならないようにしてほしい。(ちひろ)
- 学校のなかみは、階段の段数を少なくして車いすの人でも一人で上れるようにしたほうがいいと思います。1~6年生まで一つの校舎にして階段を下りたらすぐ体育館にして、その横にグッピーなどの魚を置いたほうがいいと思います。グラウンドは、ブランコ、鉄ぼうがあり、サッカーボールがないようにネットをはったほうがいいと思います。全学年地デジをお願いします。(けんた)
- 私は、たてかえるなら各階にトイレと水飲み場がほしいです。なぜかというとは、1階にしかトイレや水飲み場がないからです。(るい)
- ぼくは、ブランコと鉄ぼうがあるといいと思う。、バスなんかじゃなくても歩いていけるプールが近くにあつたらいい。ペットのうさぎがいたらいいです。(しゅん)
- 学校は4階だてがいいと思います。津波がきたら4階にげれるからです。それとじしんたいさくもしてほしいです。(たくみ)

○プールがあったら、じゅぎょうで「らくあ」にいったけれど、プールをつくったらすごく便利になると思います。 (ひかる)
○ろう下に、だんぼうをつけてほしい。ろう下は、外のように寒いから。教室をもっと明るくしてほしいです。グラウンドにはすべり台をつけてほしいです。あと地球ぎみみたいな遊び道具やターザンみたいなやつもつけてほしいです。 (あかり)
○ぐるぐる回るジャングルジムがほしいです。それ以外に色々な遊具がたくさんほしいです。広い遊び場がほしいです。 (わかな)
○ぼくは、出入口は4つぐらいにふやしたらいいと思います。なぜなら、じしんや火事がおきたとき、出入りが多いと便利だからです。 (りゅうせい)
○プールは夏に「らくあ」までいかなきゃいけないけど、学校にあったらバスに乗らなくていいし、冬はスケートもできたらいいと思います。車いす用のスロープは今まで先生にだっこされて2階にいったけどスロープがあった車いすのままいたり来たりできるのでいいと思う。 (りりあ)
○体育館は、(2階をつくり)おにごっこなどをするのが下で、階段をのぼるとなわとびゾーンにするとういと思う。グラウンドは通学路をきちんとつくと真ん中を歩くことがなくなると思います。あと、通学路をコンクリートにすれば雨がふってもぐちょぐちょにならないと思います。 (じゅり)
○校舎は公園みたいなのがあって、外に大きな水そうがあってきれいな花だんがあるきれいな学校がいい。グラウンドは広く外がわにはさくらの木があるといい。体育館は、広くて用具室は今よりきれいで道具がいっぱいある。教室は、きれいなゆかがいい。屋上があって、プールがある。階段でなくてエスカレータがいい。3階だてで玄関の広いかこういい学校がいい。 (まゆ)
○それぞれの教室に水飲み場がほしいです。 (りょう)

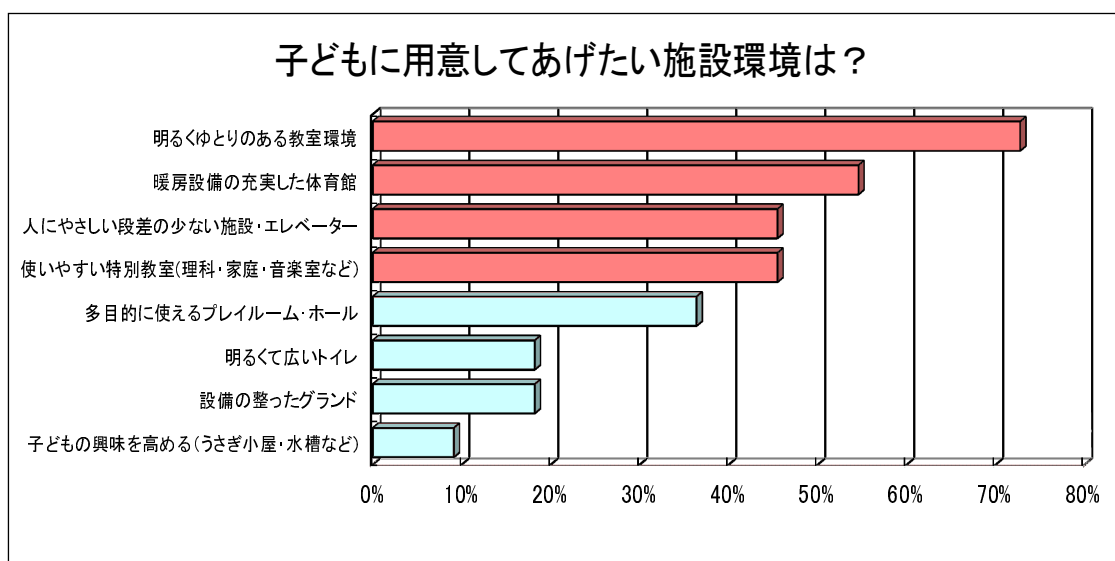
#### (4) 改築に対するアンケート（鷲別小学校教職員）

平成24年2月実施 教員数＝18 回答数＝11 回答率＝61,1%

##### ①改築の課題として関心のあるもの（3つ選択）



1	防災・安全	・できるだけ早く改築を望みます。今いる児童の安全が保障されないからです。
2		・1Fは柱だけで津波を逃がす(奥尻町立青苗小学校を参考に) 屋上にベリポートを
3		・学校+地域の避難所+対策本部機能 他に無線機、発電機、備蓄用品
4		・現在地は海拔2~3mなので可能であれば高台に 無理であれば1階は吹き抜けにする。 ・屋上はドクターヘリも離着陸できる施設。 ・地域の避難施設の役割が担えるように、食料、毛布等の備蓄
5		・子どもの校舎出入口と車の出入口を分ける。国道沿いに建てない。保育所の方の車は保育所へ。
6	特別支援	・特別支援の教室と普通学級の教室が建物の端と端にならない配置がよい。 ・学校内の生活動線にムダがない設計をお願いしたい。 ・廊下で車いす同士がすれ違える広さ。
7		・ちょっとした段差でも車いすやお年寄りには大きな段差となると思いますので、地域で利用することを考えればバリアフリーは大切だと思います。
8	施設・設備	・日差しが入り込む大きな窓、明るい廊下、子どもの背丈に合った水飲み場、子どもの数だけのパソコン



1	教室・設備	・各学年の教材・教具等が出し入れできる収納庫が教室の前や近くにあるといい。教室にも収納する棚があるといい。
2		・特別教室にしっかりとした設備があるといいです。(家庭科室、理科室の各テーブルに水道をつけるなど)
3		・黒板上下可動式 全教室にデジタルテレビ すべて電波時計
4		・教室に棚が児童数分以上あるといいです。
5		・図書ボランティアさんから、図書室にじゅうたんや子ども目線の棚があるといいですね。
6		・PCに関してタブレット式のものを使用するようにしてPC室を作らず別のスペースにする。
7		・お湯のでる手洗い場(冬場でもしっかり手洗いできるように) 普通教室と同じ大きさの保健

		室できれば隣接して、不登校児童の対応ができる教室
8	トイレ・遊具	・各教室に手洗い場、教室にインターホン+電話、屋上(理科の実験のため)、大型そうじ用具箱、テレビが照明や日光が入っても見えるように
9		・トイレ、水飲み場は、子どもたちの教室のある階にあったほうがいい。廊下などの結露がないような建て方、家庭科室には机ごとに水道の蛇口がついていると使いやすい。
10		・子どもたちが安全に楽しんで扱える遊具 運動会等、外の行事も行える広いグラウンド(幅跳びの場所)、鉄棒(子どもの背丈、子どもの手の大きさにあった太さのもの)
11	特別支援	・バリアフリー エレベーター(大人が使うことを考えて幅の広めがよいと思います)階段は手すり、段差はなくす 各階に身障者用トイレの設置 玄関スロープ 教室のドアは少しの力で開けられるように ドアに取手をつける
12		・肢体不自由学級は、オムツ替えやパウチ交換など着替えの機会が多あります。教室の横にトイレと着替えスペースのようなものが部屋としてあると大変助かります。
13		・可動式黒板 特別支援学級は、生活単元学習などにおいて教科書は使わず、手作りの教材を多く使いますので、教材室があるとよいと思います。
14		・排泄がトイレとは限らない児童がおり、和室のような個室が校内のどの教室からも遠くないところにあると利用しやすい。(電気のスイッチや水道など、車いすの児童にも届く高さで)寒暖の差が激しくない校舎をお願いしたい。
15		・特別支援学級や低学年が使えるプレイルームがあるとよい。

## 改築検討委員会名簿

1	学識経験者	石井 憲一	前日本工学院副校長
2	学識経験者	澤田 画美	リリー文化幼稚園 園長
3	町内会	川島 芳治	鷺別地区連合会長 鷺別6丁目庁内会長
4	町内会	荒木 正博	鷺別4丁目庁内会長
5	町内会	鈴木 信義	ひまわり町内会長
6	町内会	四方田英明	はまなす町内会長
7	P T A	戸井 肇	鷺別小学校 P T A 会長
8	P T A	俵谷 昌志	鷺別小学校 P T A 副会長
9	P T A	小川 昌宏	鷺別中学校 P T A 会長
10	学校評議員	大越 和男	鷺別小学校 学校評議員
11	学校評議員	安藤 直光	鷺別中学校 学校評議員
12	健全育成団体	中原 義勝	鷺別を考える会 代表
13	健全育成団体	松平 孝子	鷺別子ども見守り隊 事務局長
14	学校長	中西 広満	鷺別小学校 校長
15	学校長	勝 洋一	鷺別中学校 校長